

7 速読

「宇治拾遺物語」

名前 年 組 番

字数 385 字
目安時間 5 分

正答数 2

検印

◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

—— 陰陽師（呪術を使う役人）の安倍晴明は、ある少将の呪いを解くべく祈禱した。——

秋の夜の長きによくよくしたりければ、^{あかつき}暁方に戸をはたはたと叩きけるに、「あれ人出して聞かせ給^{いた}へ」とて、聞かせければ、この少将のあひ智^{むち}にて蔵人の五位のありけるも、同じ家にあなたこなたに据^すゑたりけるが、この少将をばよき智とてかしづき、今一人をばことの外^{ほか}に思ひ落したりければ、妬^{ねた}りて陰陽師を語らひて式^{*}を伏せたりけるなり。さてその少将は死なんとしけるを、晴明が見つけて夜一

夜祈りたりければ、その伏せける陰陽師のもとより人の来て、高やかに「心のまどひけるままに、よし

なく守り強かりける人の御ために仰^{おほ}せを背かじとて式伏せて、すでに式神返りて、おのれただ今式にうてて死に侍りぬ。すまじかりける事をして」と言ひけるを、晴明、「これ聞かせ給へ。^②昨夜見つけ参らせざらましかば、かやうにこそは候^{さぶら}はまし」と言ひて、その使ひに人を添へてやりて聞きければ、「陰陽師

はやがて死にけり」とぞ言ひける。

語注

* あひ智…妻の姉妹の夫のこと。

* 式…式神。陰陽師が呼び出して使役する鬼神。

問1 傍線部①「蔵人の五位」が少将を呪った経緯として、最も適当なものを次から選べ。

ア 舅に嫌われていた少将を苦しめることで、舅から氣に入ってもらおうとした。

イ 舅が将来を期待した少将を追ひ出し、自分が家の財産を独り占めしようとした。

ウ 舅に大切にされていた少将を攻撃して、舅に愛されない恨みを晴らそうとした。

エ 舅の尊敬する少将より上の地位に昇り、自分を見下した舅を見返そうとした。

問2 傍線部②の解釈として最も適当なものを次から選べ。

ア 昨晚呪いを見つけ申し上げなかったなら、この陰陽師も死ななかったでしょうが。

イ 昨晚呪いを見つけ申し上げなかったなら、あなたも死ぬところだったでしょうに。

ウ 昨晚呪いを見つけ申し上げたからには、あなたの命はきつと助かることでしょう。

エ 昨晚呪いを見つけ申し上げていたならば、あなたも死なずに済んだでしょう。



7
復習

「宇治拾遺物語」

名前

年 組 番

正答数

12

検印

文法Q

傍線部①～⑤について、本文横の□に、意味・活用形を埋め、文法の説明を完成させよ。

省略Q

本文横の□に省略された語句を記せ。(本文中の語句で答えること。)

秋の夜の長きによくよくしたりければ、^{あかつき}暁方に戸をはたたと叩きけるに、「あれ人出して聞かせ給へ」とて、聞かせければ、この少将のあひ^{むじ}智にて蔵人の五位のありけるも、同じ家にあなたこなたに据^す

主語
は

ゑたりけるが、この少将をばよき智とてかしづき、今一人をばことの外^{ほか}に思ひ落したりければ、妬^{ねた}が

りて陰陽師を語らひて式を伏せたりけるなり。さてその少将は死なんとしけるを、^{ねた}晴明が見つけて夜一

助動詞
①
形目的語
を主語
は

夜祈りたりければ、その伏せける陰陽師のもとより人の来て、高やかに「心^{こころ}のまとひけるままに、よし

助動詞
形

なく守り強かりける人の御ために仰^{おほ}せを背かじとて式伏せて、すでに式神返りて、おのれただ今式にう

助動詞
形

てて死に侍りぬ。すまじかりける事をして」と言ひけるを、^よ晴明、「これ聞かせ給へ。昨夜見つけ参らせ

助動詞
形

ざらましかば、かやうにこそは候^{さぶら}はまし」と言ひて、その使ひに人を添へてやりて聞きければ、「陰陽師

はやがて死にけり」とぞ言ひける。

単語Q

波線部㉔㉕の本文中での意味を答えよ。(活用する

語は終止形の訳語でよい。)

☒ その他の覚えておきたい単語

ことの外…格別。とりわけ。

語らふ…①話をかわす。②親しく付き合う。

③男女が言い交わす。

④自分の方へ引き入れる。誘い入れる。

㉔
㉕
㉖
㉗
㉘□
□
□
□
□